

2024年5月20日掲載 輸送新聞社

山形空港の隣接地に 物流センター竣工

第一貨物 エリア最大規模

第一貨物は15日、山形県東根市にエリア内最大規模となる物流施設「東根臨空物流センター」を竣工させた。自動車の内外装用フィルムや自動車用吸音断熱材などを製造するスリーエムジャパンプロダクツの原材料保管・供給業務を行う。



東根臨空物流センター

東根臨空物流センターは山形空港に隣接し、スリーエムジャパンプロダクツ山形事業所から約900m、第一貨物東根物流センターから約1.5kmの東根市大字神町字西原1817に所在。敷地

面積は2万3400平方m、建物は平屋建て（管理棟2階建て）。延べ床面積1万平方mの規模。

1階部分9700平方mのうち、管理温度25度の定温スペース部分を8100平方m確保している。定温倉庫は、はり下有効高10mとし、高多層式ラックを設置することで約5千枚のパレットを収納

することができるとい

ます。車両接岸部は、庫内温度の維持や風雨雪の吹込みを防止するためドックシェルター仕様を採用。8台分のトラックパースを確保している。

床や外壁・屋根に断熱材を施し、定温倉庫機能の向上や空調負荷の低減を図っているほか、倉庫・事務所の照明にLEDを採用するなど、省エネや環境にも配慮している点が特徴となっている。